朝から元気にラジオ体操！！
～辻荒木区ラジオ体操～

夏休みも健康で規則正しい生活を送っています

辻荒木区では、子ども育成会と老人会が一緒に、夏休みの朝６時半から宇美小学校のグラウンドにおいてラジオ体操を行っておられます。子どもたち約１００名、老人会の方々 20 名程が毎朝元気に活動しています。

５年前から、子ども育成会と老人会が一緒に活動する機会が設けられており、過去には菊を植えて育てたりする活動も行われていました。

辻荒木区では、今後も老人会と子ども育成会とが一緒になって、様々な行事や活動をしたいと考えているそうです。

素敵な歌声が響き渡りました
～第11回チャリティー歌謡ショーが開催されました～

６月 17 日（日）に、宇美町立中央公民館において、宇美カラオケ連盟主催のチャリティー歌謡ショーが開催されました。このチャリティー歌謡ショーは、当日の入場料や募金などで集まったお金を福祉基金として社会福祉協議会に寄附されており、今年で 11 年目を迎えました。

約７００名の観客が集まった会場の中、出演者は華やかな衣装に身を包んで、スポットライトを浴び自慢の歌声を披露しました。観客はペンライトを振って声援を送るなど、大変な盛り上がりをみせました。

心を込めて歌い上げる出演者

中嶋邦生氏が準優勝に輝きました
～第28回福岡県弓道近的選手権大会～

６月 24 日（日）、博多の森弓道場で第 28 回福岡県弓道近的選手権大会が開催され、福岡･北九州･筑後・筑豊の四地区から代表選手が集まり近的競技を競いました。

この大会は、審査員が行射（弓を射ること）だけでなく、入場から退場までの一挙手一投足に至るまでを評価する「採点制」で競われる最もレベルの高い大会です。

この大会で、宇美町体育協会弓道部の中嶋邦生さんが男子の部で見事準優勝に輝きました。

準優勝に輝きました

真剣なまなざしで的を見つめる中嶋さん

宇美町人権問題啓発講演会が開催されました
～戦場カメラマン　渡部陽一氏講演会～

力強くお話される渡部さん

７月７日（土）、宇美町立中央公民館大ホールで、戦場カメラマンの渡部陽一さんを講師に迎え、「戦場からのメッセージをあなたに～ファインダー越しに見た命の現場～」と題した講演会が開催されました。

渡部さんは、「なぜ戦場カメラマンになったのか」、「どうして戦争は起こるのか」を柱に、戦争の犠牲になっている子ども達について、戦場で撮影した写真を使いながら、大きなジェスチャーでゆっくり分りやすくお話されました。

今年度は申込者多数により、うみ･みらい館多目的ホールで映像中継が行われました。こちらにも多数の方が来場され、話に聞き入っていました。

なお、ご協力いただいたアンケートの結果は広報うみ９月号に掲載する予定です。

戦地の子ども達の置かれている状況を写真で見ながら説明されました

ひまわりの花が咲きました！～「人権の花」運動～

原田小学校の３年生の児童が、人権擁護委員の安川一馬さんとともに植えた人権の花ひまわりが咲きました。児童や先生、安川さんにより水やり、草取りが行われ、元気に育ちました。

この事業は、主に小学生を対象とした啓発運動で、昭和 57 年度から実施されています。その内容は、配布された花の種子、球根などを、児童が協力しながら育成することを通して、協力、感謝することの大切さを学ぶとともに、情操を豊かにし、やさしい思いやりの心を体得させ、人権思想をはぐくむことを目的としています。

ひまわりは２メートルを超える高さまで成長しました

一人ひとりの人権を大切に
～「福岡県同和問題啓発強調月間」街頭啓発が実施されました～

多くの方に啓発を行いました

県は、毎年７月を「同和問題啓発強調月間」と定め、さまざまな啓発事業を実施し、県民をあげて差別をなくす取り組みを行っています。

その一環として、宇美町では、７月３日（火）、ＪＲ宇美駅周辺及び町内スーパー２カ所で、宇美町人権教育推進協議会による街頭啓発を行い、人権尊重の意識を高めました。啓発物品として、今年は夏の節電対策にうちわが配布されました。

Umi-topics まちの話題